

学校法人イーエスピー学園

2019年度事業報告

# I. 法人概要

## 1. 教育の理念

「誰もが光る原石である」

個性を消して鋳型にはめることなく、一人ひとりが自分らしく輝くよう、力を尽くす。

## 2. 沿革

|                |                                                                                                                                                                |
|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1975年          | ギターリペア講習会開催。                                                                                                                                                   |
| 1983年          | (株) ESPのバックアップにより、ギタークラフトマン、リペアマン養成を目的とする「日本ギター製作学院」(1年制)を設立。                                                                                                  |
| 1984年          | 第1期卒業生を対象に研究科を設置、開講。<br>ポップ・ミュージック分野のプレイヤー養成を目的とする「日本創作音楽学院」(2年制)を設立。                                                                                          |
| 1985年          | ピアノ調律技術者、管楽器リペア技術者の養成を目的とする「日本ピアノ調律師養成学院」(1年制)を設立。<br>同時に左記3校を組織化し、「ESPミュージカルアカデミーグループ」とする。<br>「楽器フェア」に「日本ギター製作学院」学生作品を初めて出品。以後毎回出品を続ける。                       |
| 1986年          | 東京都新宿区下落合に1号館完成。<br>「日本ギター製作学院」と「日本ピアノ調律師養成学院」を移転。                                                                                                             |
| 1987年          | 「日本ギター製作学院」と「日本ピアノ調律師養成学院」を合併し「専門学校ESPミュージカルアカデミー」として専修学校の設置申請。<br>同時に「ESP学園」として学校法人を設立申請。<br>ともに認可され、この分野初の学校法人認可校となる。                                        |
| 1989～<br>1999年 | 本館、2号館～10号館完成                                                                                                                                                  |
| 2000年          | 文部大臣(現文部科学大臣)告示により、1999年度卒業生から「専門士」の称号が付与される。                                                                                                                  |
| 2002～<br>2004年 | 11号館～13号館完成。                                                                                                                                                   |
| 2005年          | 大阪・梅田に総合エンタテインメントの専門学校「専門学校ESPエンタテインメント」開校。<br>東京・原宿にダンスと声優の専門学校「専門学校原宿パフォーマンスビレッジ」開校。                                                                         |
| 2006年          | 専門学校原宿パフォーマンスビレッジ2号館完成。                                                                                                                                        |
| 2007年          | 「専門学校原宿パフォーマンスビレッジ」を「専門学校ESPパフォーマンスビレッジ」に校名変更。<br>専門学校ESPエンタテインメント本館完成。                                                                                        |
| 2013年          | 「専門学校ESPパフォーマンスビレッジ」を「ESPアニメーション声優専門学校」に校名変更。                                                                                                                  |
| 2015～<br>2016年 | 14号館・15号館完成。                                                                                                                                                   |
| 2017年          | ESP学園創立30周年。<br>16号館完成。<br>福岡県に総合エンタテインメントの専門学校「専門学校ESPエンタテインメント福岡」開校認可申請。                                                                                     |
| 2018年          | 「専門学校ESPミュージカルアカデミー」から「専門学校ESPエンタテインメント東京」に校名変更。<br>「専門学校ESPエンタテインメント」から「専門学校ESPエンタテインメント大阪」に校名変更。<br>「専門学校ESPアニメーション声優専門学校」から「専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京」に校名変更。 |

### 3. 設置する学校・学部・学科等

#### (1) 専門学校E S Pエンタテインメント東京

所在地：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3 - 3 - 1 9

設置認可：1987年2月2日、同年4月開校

分野：文化・教養

設置学科

- ・ 音楽アーティスト科
- ・ 音楽芸能スタッフ科
- ・ 楽器技術科 2 年制
- ・ 楽器技術科 3 年制
- ・ 楽器技術研究科
- ・ ギタークラフト科 3 年制（3 年生のみ在籍）

#### (2) 専門学校E S Pエンタテインメント大阪

所在地：〒531-0072 大阪府大阪市北区豊崎 3 - 2 1 - 7

設置認可：2005年2月4日、同年4月開校

分野：文化・教養

設置学科

- ・ 音楽アーティスト科
- ・ 声優芸能科
- ・ 音楽芸能スタッフ科
- ・ 音楽アーティスト科Ⅱ部（夜間部）
- ・ 音楽芸能スタッフ科Ⅱ部（夜間部）

#### (3) 専門学校E S Pエンタテインメント福岡

所在地：〒810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴 3 - 1 - 6

設置認可：2018年3月16日、同年4月開校

分野：文化・教養

設置学科

- ・ 音楽アーティスト科
- ・ 声優芸能科
- ・ 音楽芸能スタッフ科
- ・ 音楽アーティスト科Ⅱ部（夜間部）
- ・ 音楽芸能スタッフ科Ⅱ部（夜間部）

#### (4) 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

所在地：〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4 - 5 - 8

設置認可：2004年11月1日、2005年4月開校

2018年4月に東京都新宿区に位置変更

分野：文化・教養

設置学科

- ・ ミュージックアーティスト科
- ・ ミュージック アーティスト科 Ⅱ部（夜間部）
- ・ ミュージックアーティスト研究科

4. 学部・研究科等の入学定員、学生数の状況

| 学科                       | 入学定員  | 出願数   | 2019.5.1時点 |
|--------------------------|-------|-------|------------|
| 専門学校E S Pエンタテインメント東京     | 810   | 770   | 707        |
| 専門学校E S Pエンタテインメント大阪     | 552   | 571   | 554        |
| 専門学校E S Pエンタテインメント福岡     | 240   | 152   | 146        |
| 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 | 168   | 95    | 87         |
| 合計                       | 1,770 | 1,588 | 1,494      |

5. 役員・教職員の人数（2020年3月時点）

（1）役員

理事 5名（定員5名。うち、理事長1名）

監事 2名

| 職名  | 氏名    | 常勤・非常勤 | 選任区分 |
|-----|-------|--------|------|
| 理事長 | 渋谷 妙子 | 常勤     | (2)  |
| 理事  | 矢島 鎗司 | 非常勤    | (1)  |
| 理事  | 佐藤 澄子 | 非常勤    | (2)  |
| 理事  | 鴻井 洋一 | 常勤     | (2)  |
| 理事  | 藤森 利彦 | 非常勤    | (3)  |
| 監事  | 鈴木 誠  | 非常勤    | —    |
| 監事  | 村井 清司 | 非常勤    | —    |

（1）専門学校E S Pエンタテインメント東京の校長

（2）評議員のうちから、評議員会において選任した者 3人

（3）学識経験者（校長または評議員会であるものを除く。）のうちから、  
理事会において選任した者 1人

## (2) 評議員

定員 11 名

| 氏名     | 常勤・非常勤 | 選任区分 |
|--------|--------|------|
| 渋谷 妙子  | 常勤     | (1)  |
| 渋谷 知香  | 常勤     | (1)  |
| 佐藤 澄子  | 非常勤    | (1)  |
| 郷 勇人   | 常勤     | (1)  |
| 鴻井 洋一  | 常勤     | (2)  |
| 高田 晋   | 常勤     | (2)  |
| 長谷川 英律 | 常勤     | (2)  |
| 井熊 剛   | 常勤     | (2)  |
| 本間 妙子  | 非常勤    | (3)  |
| 菅原 英明  | 非常勤    | (3)  |
| 日向 美智子 | 非常勤    | (3)  |

- (1) この法人の職員で、理事会において推薦された者のうちから、  
評議員会において選任した者 4 人
- (2) この法人の設置する学校を卒業した者で、年齢 25 歳以上の者のうちから、  
理事会において選任した者 4 人
- (3) 学識経験者（職員およびこの法人の設置する学校を卒業した者を除く）のうちから、  
理事会において選任した者 3 人

## (3) 教職員の概要

(単位：人)

|                          | 教員  |     | 職員 | 合計  |
|--------------------------|-----|-----|----|-----|
|                          | 専任  | 兼任  |    |     |
| 学校法人本部                   | 0   | 0   | 12 | 12  |
| 専門学校ESPエンタテインメント東京       | 62  | 255 | 19 | 336 |
| 専門学校ESPエンタテインメント大阪       | 36  | 78  | 33 | 147 |
| 専門学校ESPエンタテインメント福岡       | 28  | 35  | 12 | 75  |
| 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京 | 10  | 20  | 6  | 36  |
| 合計                       | 136 | 388 | 82 | 606 |

## 6. その他

当学園の各校はアメリカ・ハリウッドにあるMusicans Insutitute、Elegance International  
とは姉妹校です。

## II. 事業概要

## 1. 事業の概要

### 【法人全体】

学校法イーエスピー学園は、1983年に既存の専門学校ESPエンタテインメント東京の前身である日本ギター製作学院を創設以来、「誰もが光る原石である」という教育の理念のもと、母体であるギターメーカー「㈱イー・エス・ピー」との強力な連携、音楽・楽器を始めとしたエンタテインメント業界との幅広く強固なネットワークを生かし、社会や時代のニーズを捉えた先進的な職業教育を行い、多くの活躍する卒業生を輩出してきました。

今後も、時代の変化とともに求められるエンタテインメント各分野に関する最新技術の修得した人材を育成・輩出する専門学校として、その先導的役割を果たしていきます。

一方、近年のSNSの普及や、音楽配信の形態変化が進み、産業構造が大きく変化しています。

加えて少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少が進み、総じて我々を取り巻く社会環境は大きな変革期を迎えています。

このような中におきまして、エンタテインメント業界や進学希望者のニーズに対応するため、本学園ではESPエンタテインメント東京、ESPエンタテインメント大阪、ESPエンタテインメント福岡、ミュージシャンズ・インスティテュート東京の4校を設置し、それぞれのニーズに合わせた教育環境を提供し、引き続き教育理念に沿った教育を行っていきます。

## 2. 主な事業の目的・計画及びその進捗状況

専門学校ESPエンタテインメント東京、  
及び専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

### ○2019年度重点目標

・高等教育無償化を見据えた体制整備

各種規程等を確認し、不足があるものは新規策定や、見直しを行い、各種体制整備を行いました。

努力義務であったため、今まで行っていなかった学校関係者評価も実施するための各種契約や規程の策定、その他昨年までの自己評価において不足していた各種規程を新設・修正を行い、各科それぞれで保管してあったシラバスを全科共通の書式に修正し、客観的な成績評価指数としてGPA制度を導入し、更には任期満了に伴う外部理事の登用等、様々な体制整備を行ってきました。

組織体制において、エンタテインメント東京校では今まで広報課としてきた部署を入学課とし、更にはICC（インターナショナルコミュニケーションセンター）としてきた部署と統合、国内部門と国際部門を設けることで、国内外への入学希望者への適切・迅速な対応を行うよう、変更しました。

また、今まで留学生は前述のICCのスタッフで入学前から卒業後まで関わっていましたが、今後は新設の入学課国際部門として、入学に特化した対応を行い、別途新設のSLC（スチューデントライフセクション）を日本人学生、留学生共通の総合的な在学中の相談窓口とすることで、入学～在学～卒業まで日本人学生、留学生共に変わらず手厚くフォローを行っていくことを想定しています。

以上のうち、組織体制については、2020年度の運用確認後、他3校にも同様の体制となるよう、運営補助を行っていく予定です。

## 専門学校E S Pエンタテインメント大阪

### ○2019年度重点目標

- ・授業評価の体制強化。
- ・教員の資質向上への取り組み
- ・海外留学生の受け入れ体制強化

年2回授業アンケートを実施しましたが、回収率に関しては学科によりばらつきが出ているため、厳密な授業評価に結びつきにくく、今後はオンラインアンケートに移行するなど、回収率のアップに取り組む予定です。

外部講師を招いたセミナー等は現状実施できておらず、喫緊の課題として来年度も引き続き取り組んでいきます。

また、新人講師の育成においては、主任講師等がサポートして授業に参加するなどのフォローは行っておりますが、組織としての育成制度の確立には至っておらず、今後の課題として制度確立に向けた体制整備を行います。

外部の留学生向け進学ガイダンスに年に数回参加、日本語学校への定期訪問と新規開拓を実施しました。

良好な関係を構築している日本語学校を対象に、留学生限定のオープンキャンパスを企画開催するなど、留学生募集に関わる広報活動にも積極的に取り組みました。

今後更に留学生の受入数を増やすには、担当者の増員とインターナショナルコミュニティセンターの組織化が課題となりました。

## 専門学校E S Pエンタテインメント福岡

### ○2019年度重点目標

- ・デビューサポートセクションとキャリアサポートセクションの強化
- ・社会貢献・地域貢献となる活動
- ・進級率85パーセント以上
- ・年間平均出席率80パーセント以上

福岡校は2018年4月に開校し、2019年度が初の卒業生を送り出す完成年度となるため、学生へのキャリア指導を行い、就職率は83%となりました。

また、デビューに向けては関連業界と連携したオーディションを10数回実施し、サポートミュージシャンとしての業務開始、TV番組の楽曲制作に選出されるなどの実績となりました。

その他の数字目標「進級率85パーセント以上」に関しては120/146（82.2%）、「年間平均出席率80パーセント以上」に関しては85.3%という結果となりました。

### 3. 施設等の状況

#### (1) 現有施設設備の所在地等の説明

主な施設設備の状況は次のとおりである。

#### 専門学校ESPエンタテインメント東京

| 名称          | 所在地             | 校地面積                  | 校舎面積                   | 備考              |
|-------------|-----------------|-----------------------|------------------------|-----------------|
| 本館          | 新宿区高田馬場3丁目3番19号 | 624.52 m <sup>2</sup> | 1506.67 m <sup>2</sup> | 鉄筋コンクリート        |
| 1号館         | 新宿区下落合4丁目1番12号  | 158.63 m <sup>2</sup> | 588.92 m <sup>2</sup>  | 鉄筋コンクリート        |
| 2号館         | 新宿区下落合1丁目8番10号  | 109.35 m <sup>2</sup> | 324.91 m <sup>2</sup>  | 鉄骨その他           |
| 4号館         | 新宿区下落合2丁目6番6号   | 136.99 m <sup>2</sup> | 608.05 m <sup>2</sup>  | 鉄骨その他           |
| 5号館         | 新宿区下落合1丁目11番3号  | 88.63 m <sup>2</sup>  | 229.08 m <sup>2</sup>  | 鉄骨その他           |
| 9号館         | 新宿区高田馬場3丁目3番24号 | 229.28 m <sup>2</sup> | 435.96 m <sup>2</sup>  | 鉄筋コンクリート        |
| 10号館        | 新宿区高田馬場4丁目2番34号 | 316.42 m <sup>2</sup> | 782 m <sup>2</sup>     | 鉄筋コンクリート        |
| 12号館        | 新宿区高田馬場3丁目4番7号  | 705.16 m <sup>2</sup> | 2277.55 m <sup>2</sup> | 鉄筋コンクリート        |
| 13号館        | 新宿区高田馬場3丁目4番6号  | 376.21 m <sup>2</sup> | 879.61 m <sup>2</sup>  | 借用(土地)、鉄筋コンクリート |
| 14号館        | 新宿区高田馬場3丁目3番21号 | 361.91 m <sup>2</sup> | 701.69 m <sup>2</sup>  | 鉄筋コンクリート        |
| 15号館        | 新宿区下落合2丁目6番7号   | 155.33 m <sup>2</sup> | 608.28 m <sup>2</sup>  | 鉄骨その他           |
| 16号館        | 新宿区高田馬場3丁目4番17号 | 384.88 m <sup>2</sup> | 1246.16 m <sup>2</sup> | 借用(土地)、鉄筋コンクリート |
| 本館東側<br>休憩所 | 新宿区高田馬場3丁目3番19号 | 105.68 m <sup>2</sup> | — m <sup>2</sup>       | 鉄筋コンクリート        |
| 倉庫          | 新宿区下落合1丁目8番     | 88.97 m <sup>2</sup>  | 136.08 m <sup>2</sup>  | 鉄骨その他           |

#### 専門学校ESPエンタテインメント大阪

| 名称      | 所在地             | 校地面積                   | 校舎面積                   | 備考       |
|---------|-----------------|------------------------|------------------------|----------|
| 本館(2号館) | 大阪市北区豊崎3丁目21番7号 | 1047.86 m <sup>2</sup> | 1746.07 m <sup>2</sup> | 鉄筋コンクリート |
| 1号館     |                 |                        | 3648.02 m <sup>2</sup> | 鉄筋コンクリート |

#### 専門学校ESPエンタテインメント福岡

| 名称 | 所在地             | 校地面積                  | 校舎面積                   | 備考       |
|----|-----------------|-----------------------|------------------------|----------|
| 本館 | 福岡市中央区舞鶴3丁目1番6号 | 316.12 m <sup>2</sup> | 1722.18 m <sup>2</sup> | 鉄筋コンクリート |

#### 専門学校ミュージシャンズ・インスティテュート東京

| 名称 | 所在地            | 校地面積                  | 校舎面積                  | 備考       |
|----|----------------|-----------------------|-----------------------|----------|
| 本館 | 新宿区高田馬場4丁目5番8号 | 188.88 m <sup>2</sup> | 545.31 m <sup>2</sup> | 鉄骨その他    |
| 別館 | 新宿区高田馬場4丁目6番1号 | 821.67 m <sup>2</sup> | 824.71 m <sup>2</sup> | 鉄筋コンクリート |

- (2) 主な施設設備の取得又は処分計画及びその進捗状況  
特になし。

#### 4. その他

- (1) 当該年度の重要な契約  
特になし。

- (2) 係争事件の有無とその経過  
特になし。

- (3) 決算日後に生じた学校法人の状況に関する重要な事実  
特になし。

### III. 財務の概要

## 1. 決算の概要

### (1) 収益の概要

◇教育活動収入は前年比111%の35.6億円となり、前年に比べ3.6億円の増収となった。その主な内容は前年度に開校した福岡校が2学年そろったことによる生徒数の増加、又他の東京校、大阪校共に生徒数を増加させたことによる。

◇教育活動支出は前年比94%の29.7億円となり、前年に比べ1.9億円の減少となった。その主な内容は広報活動の大幅な見直しにより経費が減少したことによる。

結果として教育活動収支差額は5.9億円となり、前年に比べ5.5億円の増加となった。

◇教育活動外収支は、収益事業収入、受取利息及び支払利息の金額であり、教育活動外収支差額は3百万円となり、その結果、経常収支差額は5.9億円となった。

◇特別収支は設備補助金収入、資産売却損の金額であり、特別収支差額は△6百万円となり最終的な基本金組入前収支差額は5.9億円となり、前年に比べ4.2億円の大幅な増加となった。

### (2) 資産・負債の概要

◇資産：大阪校本館外壁修繕を行い、建物1.0億円の増加となった。現金預金及び有価証券の合計額は35.0億円であり前年と比べると0.7億円の増加となった。

◇負債：借入金残高は11.8億円となり前年と比べると5.0億円の減少となった。

## 2. 経年比較

### (1) 貸借対照表 令和2年3月31日

| 科目          | 前年度末           | 本年度末           | 増減           |
|-------------|----------------|----------------|--------------|
| 資産の部        |                |                |              |
| 固定資産        | 24,845,407,040 | 24,708,119,666 | 137,287,374  |
| 有形固定資産      | 15,558,131,863 | 15,365,709,797 | 192,422,066  |
| その他の固定資産    | 9,287,275,177  | 9,342,409,869  | -55,134,692  |
| 流動資産        | 3,612,479,710  | 3,544,504,640  | 67,975,070   |
| 現金預金        | 3,404,302,428  | 3,349,545,408  | 54,757,020   |
| その他流動資産     | 208,177,282    | 194,959,232    | 13,218,050   |
| 資産の部合計      | 28,457,886,750 | 28,252,624,306 | 205,262,444  |
| 負債の部        |                |                |              |
| 固定負債        | 1,185,563,126  | 723,244,698    | 462,318,428  |
| 流動負債        | 3,628,321,860  | 3,294,339,096  | 333,982,764  |
| 負債の部合計      | 4,813,884,986  | 4,017,583,794  | 796,301,192  |
| 純資産の部       |                |                |              |
| 基本金         |                |                | 0            |
| 第1号基本金      | 19,179,213,316 | 19,707,099,526 | -527,886,210 |
| 第4号基本金      | 222,000,000    | 222,000,000    | 0            |
| 基本金合計       | 19,401,213,316 | 19,929,099,526 | -527,886,210 |
| 繰越収支差額      | 4,242,788,448  | 4,305,940,987  | -63,152,539  |
| 翌年度繰越収支差額   | 4,242,788,448  | 4,305,940,987  | -63,152,539  |
| 純資産の部合計     | 23,644,001,764 | 24,235,040,512 | -591,038,748 |
| 負債及び純資産の部合計 | 28,457,886,750 | 28,252,624,306 | 205,262,444  |

## (2) 事業活動収支計算書

平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

|               |           |               |               |               |              |
|---------------|-----------|---------------|---------------|---------------|--------------|
| 教育活動収入の部      | 事業活動収入の部  | 科目            | 前年度           | 本年度           | 増減           |
|               |           | 学生生徒等納付金      | 3,160,278,000 | 3,528,589,500 | 368,311,500  |
|               |           | 手数料           | 26,671,555    | 26,070,654    | -600,901     |
|               |           | 寄付金           |               |               | 0            |
|               |           | 経常費等補助金       | 284,756       | 295,266       | 10,510       |
|               |           | 付随事業収入        | 16,064,799    | 11,315,032    | -4,749,767   |
|               |           | 雑収入           | 1,600,118     | 1,670,808     | 70,690       |
|               |           | 教育活動収入計       | 3,204,899,228 | 3,567,941,260 | 363,042,032  |
|               | 事業活動支出の部  | 科目            | 決算            | 決算            | 決算           |
|               |           | 人件費           | 1,044,954,592 | 1,045,262,732 | 308,140      |
|               |           | 教育研究経費        | 1,126,231,440 | 1,175,117,575 | 48,886,135   |
|               |           | 管理経費          | 991,147,075   | 753,719,250   | -237,427,825 |
|               |           |               |               |               |              |
|               |           | 教育活動支出計       | 3,162,333,107 | 2,974,099,557 | -188,233,550 |
| 教育活動収支差額      |           | 42,566,121    | 593,841,703   | 551,275,582   |              |
| 教育活動外収支       | 事業活動収入の部  | 科目            | 決算            | 決算            | 決算           |
|               |           | 受取利息・配当金      | 12,612,861    | 888,900       | -11,723,961  |
|               |           | その他の教育活動外収入   | 92,517,478    | 6,945,981     | -85,571,497  |
|               |           | 教育活動外収入計      | 105,130,339   | 7,834,881     | -97,295,458  |
|               | 事業活動支出の部  | 科目            | 決算            | 決算            | 決算           |
|               |           | 借入金等利息        | 6,378,944     | 3,342,093     | -9,721,037   |
|               |           | その他の教育活動外支出   | 45,625,655    | 1,146,412     | -44,479,243  |
|               |           | 教育活動外支出計      | 52,004,599    | 4,488,505     | -47,516,094  |
|               | 教育活動外収支差額 |               | 53,125,740    | 3,346,376     | -49,779,364  |
| 経常収支差額        |           | 95,691,861    | 597,188,079   | 501,496,218   |              |
| 特別収入支         | 事業活動収入の部  | 科目            | 決算            | 決算            | 決算           |
|               |           | 資産売却差額        | 552,618,722   |               | -552,618,722 |
|               |           | その他の特別収入      | 6,984,000     | 3,653,001     | -3,330,999   |
|               |           | 特別収入計         | 559,602,722   | 3,653,001     | -555,949,721 |
|               | 事業活動支出の部  | 科目            | 決算            | 決算            | 決算           |
|               |           | 資産処分差額        | 493,939,022   | 9,802,332     | -484,136,690 |
|               |           | その他の特別支出      | 0             |               | 0            |
|               |           | 特別支出計         | 493,939,022   | 9,802,332     | -484,136,690 |
|               | 特別収支差額    |               | 65,663,700    | -6,149,331    | -71,813,031  |
| 〔予備費〕         |           |               |               |               |              |
| 基本金組入前当年度収支差額 |           | 161,355,561   | 591,038,748   | 429,683,187   |              |
| 基本金組入額合計      |           | -441,366,691  | -527,886,210  | -86,519,519   |              |
| 当年度収支差額       |           | -280,011,130  | 63,152,538    | 343,163,668   |              |
| 前年度繰越収支差額     |           | 3,777,828,794 | 4,242,788,448 | 464,959,654   |              |
| 基本金取崩額        |           | 744,970,784   | 0             | -744,970,784  |              |
| 翌年度繰越収支差額     |           | 4,242,788,448 | 4,305,940,986 | 63,152,538    |              |